



AIサーマルカメラの導入について

令和2年5月16日
桜の聖母短期大学 企画室

導入の背景

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、クラスターを学内に発生させないようにするため、入館者に対し非接触型体温計による計測を行っていた。
しかし、検温業務にあたる職員の接触を完全に抑制することができないことや、授業開始後にも円滑な計測ができるよう、本機を調達、配置した。

運用開始日

令和2年5月12日

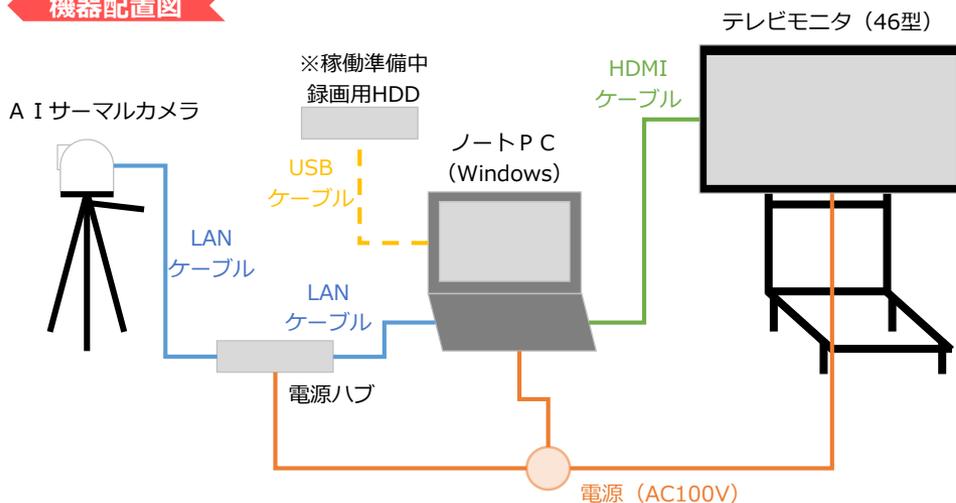
導入機種

アイリスオーヤマ製 AIサーマルカメラ（ドームタイプ）
（品番：DS-2TD1217B-6/PA）

設置場所

桜の聖母短期大学 マルグリット館正面玄関
※本装置運用中は、この箇所を唯一の出入口とし、それ以外は閉鎖している。

機器配置図



現在の運用

検温結果が画面に速やかに表示される。
その結果に基づいて、入館の可否を判断する。

36.5℃	37.0℃	37.3℃	36.9℃以下: 緑表示 入館可
			37.0℃以上: 黄表示 入館可 (ただし職員が注意喚起をする)
			37.3℃以上: 赤表示 発熱につき入館拒否
			※なお、赤表示時はアラームが鳴動する。

装置写真

AIサーマルカメラ（ドームタイプ）本体



テレビモニタ (46型)



本件に関するお問い合わせ

学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム
桜の聖母短期大学 企画室
（担当：岩本）
電話：(024)534-7137
E-mail：iwamoto-m@ssjc.ac.jp

